

## 南多摩高校同窓会「あかね会」とは...

南多摩高校同窓会「あかね会」は、高校生の皆さんが卒業すると同時に会員となることができ、その際に納められた永久会費5,000円で運営されています。現在、会員数は卒業生と在籍職員を含めて約29,000名にのぼり、そのうち住所が判明している約2万名が会員登録されています。

会の主な活動は5月に定期総会を開催、年度事業計画を決定し、卒業生には卒業証書ホルダーの寄贈、在校生には優秀な成績を収めた部活動への支援や、卒業後の進路指導への講演などを行っています。このほか会員にはホームページや広報紙を通じて情報を発信し、年に数回の常任委員会や新年会など開いて、会員相互の親睦や情報交換をはかっています。

会の歴史は南高の前身・府立第四高等女学校が創立された3年後の明治44年11月に、卒業生同士の親睦をはかるために設立されました。「あかね会」の名称は、昭和33年・南高創立50周年の折に、「東の空をあかね色に染める朝日をイメージし、未来に拓く若者の燃え立つ色でもある」ことから、当時の池田文雄校長により命名されました。毎年5月の第3日曜に、あかね会総会と懇親会が開催され、会員の方は誰でも参加できます。

## 南高100周年基金とは...

「南高100周年基金」は、平成20年(2008)、南多摩高校創立100周年記念事業の際に、卒業生や南高関係者から寄せられた3,000名以上の記念募金の浄財をもとに、母校や同窓会の活動を支援するものとして翌年に設置されました。

創立100周年記念事業の折には、母校に対して「南高百年太鼓」や「洋楽器」を寄贈し、部活動の支援を行ってきました。「南高100周年基金」としては、母校へ多摩産材の机・椅子の寄贈、スクールカウンセラーの派遣や湧志学堂への援助、卒業生自らの職業体験を在校生に講義する授業「先輩に学ぶ」を開催し、また、「クスノキの記念碑」建立にも支援してきました。

# 「南高百年太鼓」と「洋楽器」の寄贈



中学生も加わり一段とスケールアップ、いまや「南多摩」の新しい名物となった「南高百年太鼓」。太鼓から響きわたるバチに音は、観衆・聴衆の心にも深く沁み込みます。全国高校PTA連合会・東京大会では、大観衆の前で演奏を披露、拍手喝采を浴びました。同窓会では大締太鼓、締太鼓、長胴太鼓 8台に脚台やバチを加えた和太鼓一式を、平成20年(2008)に母校に寄贈しました。このほか、奏者が羽織る半被や帯などの補充も含めて支援しています。また、器楽演奏会に参加する際、それまで他校から借りて演奏をしていたという「洋楽器」。同窓会では同年に、コントラバス、チェロ、ビオラ、クラリネットの洋楽器も寄贈しました。器楽演奏会や母校の文化祭などで清らかな音色が響き、卒業生の心のこもった浄財が役立てられています。



# 「多摩産材製の机・椅子」寄贈と 「クスノキの記念碑」を建立



学校の玄関脇や廊下などに設置され、生徒の皆さんが何気なく利用している机と椅子は、多摩で生産された温かみの残る木材により造られています。東京都の教育環境指針に沿って計画的に整備され、100周年基金として生徒の自習、「教えあう教育」を支えるため、整備の支援を順次行っています。

また、昭和20年8月2日未明、八王子空襲によって焦土と化した母校に、再び芽を吹いた1本のクスノキ。その偉大な生命力に勇気づけられ、当時の生徒や教師たちの大きな励みとなりました。明治、大正、昭和、平成と100余年にわたって母校を見守ってきたクスノキは、現在は大樹となって通学路に聳えています。この木の精神を後世に伝えていくために、平成22年5月に南高100周年基金の援助のもとに、正門の通学路脇に「クスノキの記念碑」を建立しました。

## OBから生徒へ、「先輩に学ぶ」授業開講



「100周年記念事業」として、平成17年春に始まった総合学習支援プロジェクト「先輩に学ぶ」。高校2年生全員に対し卒業生が自らの職業経験を講演し、進路指針となるよう支援してきました。社会の第一線で活躍する卒業生が講師となり、毎年早春に継続して開かれています。学校関係者、僧籍者、企業人、文化芸術などで活躍する先輩方が、豊富な経験と生きる知恵を後輩育成のために講演してきました。最近では大学英語教授、弁護士、税理士、国土地理院職員、音楽指導の経験をもつ先輩が5つの教室に分かれ、分野別に決められたテーマを講義し、生徒から熱心で活発なディスカッションが繰り広げられました。

今後も同窓会ではOB講師による「先輩に学ぶ」の授業を通じて、母校と生徒を積極的に支援していきます。



# 広報紙『美なみたま』の発行と サイト『南たまコミュニティ』の開設



[www.akanekai.org/](http://www.akanekai.org/)

100周年広報紙『南高100周年』の発刊終了後、2010年春に、あかね会の全会員に向けて広報紙『美なみたま(2010年特別号)』を発行し、母校の中高一貫校開校や定時制閉課程についての最新情報をお知らせしました。今後は年1回ペースで広報紙の定期刊行化を目指していく予定です。

南高同窓会・あかね会公式サイト『南たまコミュニティ』を開設し、ホームページを通じて学校情報や同窓会情報を発信し、会員相互の情報交換や、同期会・クラス会・サークル会など同窓会通信の役割を果たしています。また、会員名簿の変更届もサイトから連絡でき、母校の歴史を紐解いたり、いま話題の「南高百年太鼓」の演奏も、サイトを通じてYouTubeから映像で見ることがもできます。